

体感!
ミゲンバのお仕事

市報 雪とスイカと花笠のまち
おばなざわ



目次

2 … 尾花沢市ふるさと納税取り組み紹介
4 … 令和3年度決算報告
6 … トピックス / 10 … おばなざわ日記
12 … みんなのページ / 14 … お知らせ
16 … おばなざわ事典

令和4年
10月
No.854

▶芭蕉の像は、平成元年の4月に、芭蕉来訪300年を記念して本市出身の方に寄贈していただきました。



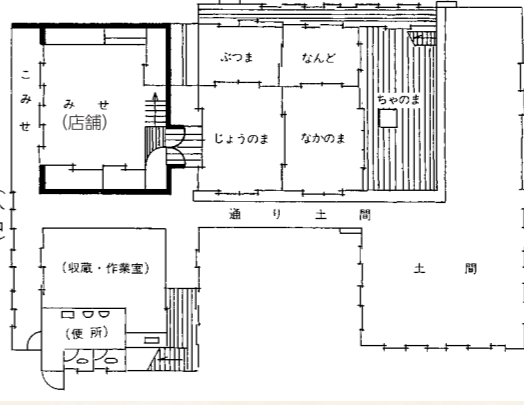
◀昭和58年7月、開館時のテープカットの様子。

今年、開館40周年を迎えました
尾花芭蕉と鈴木清風が残した歴史や、尾花沢の地域文化を未来に継承することも、新たな地域創造の拠点として、昭和58年7月3日に「芭蕉、清風歴史資料館」が開館しました。
開館日の7月3日は、「おくのほそ道」紀行で、尾花芭蕉が尾花沢に來訪した日にちなんでいます。

おばなざわ事典
芭蕉、清風歴史資料館

▶鈴木弥兵衛家が酒屋を営んでいた頃の間取り。現在は一部分が増改築されていますが、当時の様子には思いをはせながら、館内の展示を楽しんでみては。

開館当時の平面図(旧丸屋酒造鈴木弥兵衛家)



資料館には、芭蕉や清風に関する資料のほか、尾花沢市の歴史や生活芸術文化にまつわる資料や文献が数多く寄せられ、大切に保管・展示されています。
その建物は、旧丸屋酒造鈴木弥兵衛家の店舗と母屋を、東側の道路に面するよう90度回転し、鈴木清風邸宅跡の隣に移転(曳屋)したものです。店舗の前面にある土間の「こみせ」や母屋の「通り土間」を設けた造りなど、雪深い尾花沢ならではの特徴を持つ、江戸時代町屋の姿を伝える貴重な遺構となっています。
資料館を訪れた際は、建物自体にも注目してみてはいかがでしょうか。

10月6日(木)~11月8日(火)
芭蕉、清風歴史資料館特別展「開館40周年記念・収藏品展」開催中!

これまで収蔵されてきた古文書・美術品・諸資料や今までに開催した特別展の歩み、資料館のお仕事紹介など、下記の2カ所を会場に普段は展示しない資料も公開しています。ぜひご来場ください。

会場①芭蕉、清風歴史資料館

■時間/午前9時~午後4時30分
(11月からは、午前9時30分開館)
※毎週水曜休館日(水曜日が祝日の場合はその翌日)

■入館料/大人210円、学生100円、中学生以下無料
※11月3日(木)「東北文化の日」は入館無料

会場②学習情報センター悠美館

■時間/月~土…午前9時~午後7時
日曜・祝日…午前9時~午後5時
※第2・第4月曜休館日

■入館料/無料

◎ 芭蕉、清風歴史資料館 ☎(22)0104

市の人口と世帯

10月1日 現在	前月比
男 7,166人	(-16)
女 7,380人	(-11)
計 14,546人	(-27)
世帯数 5,280戸	(+2)

先月中の動き(届出件数)	
出生	5人
死亡	25人
転入	17人
転出	24人
婚姻	6組

表紙
体感!ミゲンバのお仕事

9月28日、市内の中学2年生を対象に、建設業の「作業体験会」が行われました。会場となった徳良湖には、巨大な重機やクレーン車、大型ダンプなどがずらりと並び、迫力満点。生徒たちは、現場で働くプロの皆さんに使い方を教わり、さっそく一人で重機に乗り込んで操作を体験。「お~動いた!」初めてとは思えないほど上手にレバーを使いこなす生徒たち。この日参加した中学生の誰かが「ミゲンバ」で働く姿を、近い将来目にする日が来るかもしれません。
(今月号⑩ページ「おばなざわ日記」に関連記事を掲載)

再生紙を使用しています。

ふるさと納税返礼品

「尾花沢産米」のパッケージをリニューアル!

市では、ふるさと納税の寄附をしていただいた方へ、様々な尾花沢の特産品などをお礼の品としてお返ししています。

昨年度は、特に人気の高い「尾花沢産米」のパッケージデザインをリニューアルしました。リニューアルの検討をするため、「想いをパッケージに!!おばねの米を全国に届けようプロジェクト!!」を実施。このプロジェクトに参加した市内在住の中高生たちが、山形芸術工科大学の先生と学生の協力を得ながら、田んぼの視察やワークショップでアイデアを形にし、グループごとに発表。選考会で検討した結果、若者らしい2種類のデザインが出来上がりました。

「想いをパッケージに!! おばねの米を全国に届けようプロジェクト!!」

～新パッケージができるまで～



▲「尾花沢産米」の田んぼを視察。地元の農家の皆さんの米作りにかかる想いをしっかり受け止めました。



▲視察の内容を踏まえてワークショップで話し合い。尾花沢の稲作とお米の美味しさが寄附者に伝わるデザインを考察。



▲選考会の様子。グループで考えたデザインを一つ一つ見て、2つのデザインを選出。

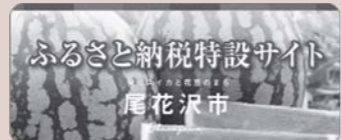
こんなパッケージができました!



田んぼの黄緑色をベースに、米・雪・花笠を圖案化したデザイン。裏面には田んぼの写真を掲載し、尾花沢の風景と米農家の想いが伝わるように、説明文も加えました。

あなたの周りの方々にも「尾花沢市ふるさと納税」をご紹介ください

返礼品をきっかけに尾花沢を知り、「尾花沢ファン」になっていただくことが、大切な「縁」につながります。市外に離れて暮らすご家族やお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひふるさと納税をご紹介いただき、応援の輪を広げてくださいますよう、よろしくお祈りします。



▲市公式ホームページで「ふるさと納税特設サイト」開設中! QRコードを読み取ってアクセスしてください。



尾花沢市ふるさと納税取り組み紹介

「ふるさと尾花沢応援基金」こんなことに活用されました

令和3年度寄附受入額 過去最高の7億8,922万7,600円!



いただいた寄附金は、「ふるさと尾花沢応援基金」として積み立てられ、魅力ある観光地づくりや産業振興、住み続けたいまちづくりなどの事業に活用しています。令和3年度は、子育て環境づくりに最も多く使われ、小中学校のICT活用授業への支援や、読書向上推進事業等に役立てられました。また、徳良湖周辺施設の整備や防犯・街路灯の設置、元気な地域づくり事業など、全部で63の事業に活用されています。

まちづくり事業に活用

寄附に対する返礼品は、尾花沢すいかや雪降り牛尾花沢、尾花沢産のお米をはじめ、銀山温泉宿泊補助券など、様々な特産品等が好評を得ており、市のPRにもつながっています。

7億8千万円を 超える寄附

生まれ育ったふるさとや、応援したい自治体に納税(寄附)をすることが出来る「ふるさと納税」制度。令和3年度は、過去最高額となる5万9千771件、7億8千922万7千600円が全国から本市に寄せられました。

令和3年度にふるさと納税を活用した事業の一部を紹介します



▲毎年6月に行っている「花のかけはし」定植作業。市の玄関口である国道13号が鮮やかな花々で彩られます。



▲保育園で行っている「わんぱくキッズ事業」。遊びを通して子どもたちの心と体の健やかな成長を手助けしています。写真右側：キッズリトミック (さくら保育園) 写真左側：キッズ・サッカー (おもだか保育園)



▲西原地区の「かかしの郷」による地域づくり。かかしがきっかけで地区民同士の会話が増え、地域が明るくなりました。



▲常盤地区で毎年開催されている「城山ロードレース大会」。力の限り走る子どもたちを、地区全体で応援!



▲子どもたちの成長と食育に欠かせない給食。給食費の助成にもふるさと納税が活用されています。

令和3年度決算が市議会9月定例会にて認定されました。効率的な行財政運営を進めることにより、一般会計決算における歳入歳出の差引は9億7,653万円の黒字となりました。

健全な財政を維持

収入に対する借金返済の割合を示す実質公債費比率が、前年から0.2ポイント上昇して7.1となりましたが、将来負担比率は16.5ポイント改善し55.2となり、健全な財政状況を維持しています。

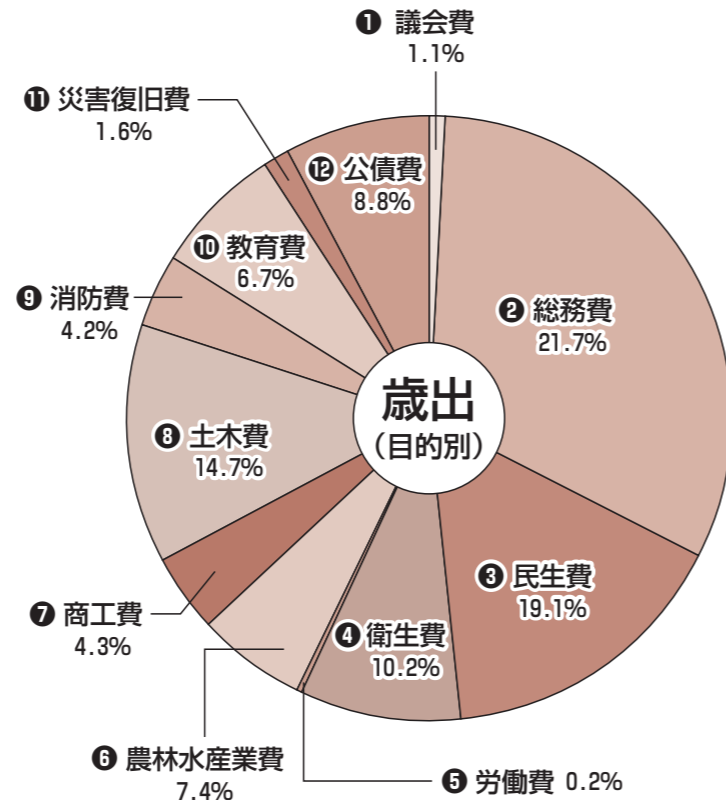
今後も、後年度負担に配慮した計画的な事業実施により、健全な財政の維持に努めてまいります。

一般会計歳出の内訳(主な事業内容)

① 議会費	1億4,411万円
議員報酬、議会タブレット導入事業など	
② 総務費	29億4,097万円
ふるさと尾花沢応援基金事業11億6,972万円、ふるさと暮らし応援事業7,429万円、路線バス運行事業6,015万円など	
③ 民生費	25億8,304万円
保育所費(保育所運営費・特別保育対策事業等)3億8,550万円、障害福祉サービス費3億6,253万円、子ども・子育て支援給付事業2億8,222万円など	
④ 衛生費	13億7,871万円
環境衛生事業組合負担金4億555万円、後期高齢者医療費2億9,016万円、感染症等予防事業1億2,580万円など	
⑤ 労働費	3,413万円
シルバー人材センター運営補助金など	
⑥ 農林水産業費	10億56万円
多面的機能支払交付金事業2億1,602万円、中山間地域等直接支払事業5,418万円、有害鳥獣対策事業1,244万円など	
⑦ 商工費	5億8,678万円
観光費(徳良湖周辺施設等指定管理料、観光物産協会補助金等)2億9,618万円、商工振興費(地元購買活性化事業、事業持続化応援支援金等)1億5,495万円など	
⑧ 土木費	19億9,021万円
除排雪経費(道路)10億1,983万円、道路新設改良事業(単独)1億171万円、除雪基地整備事業9,548万円など	
⑨ 消防費	5億7,228万円
非常備消防費(消防団経費等)3,955万円、消防施設費(耐震性貯水槽設置、小型動力ポンプ購入等)5,336万円など	
⑩ 教育費	9億352万円
学校管理費2億7,678万円、教育振興費1億2,550万円、文化体育施設整備修繕事業3,375万円など	
⑪ 災害復旧費	2億2,383万円
農林水産施設、公共土木施設等に係る災害復旧費	
⑫ 公債費	11億8,671万円
市債の元金・利子償還	

一般会計 歳出決算額

歳出合計 135億4,485万円



市民1人あたりが納めた税金 11万49円

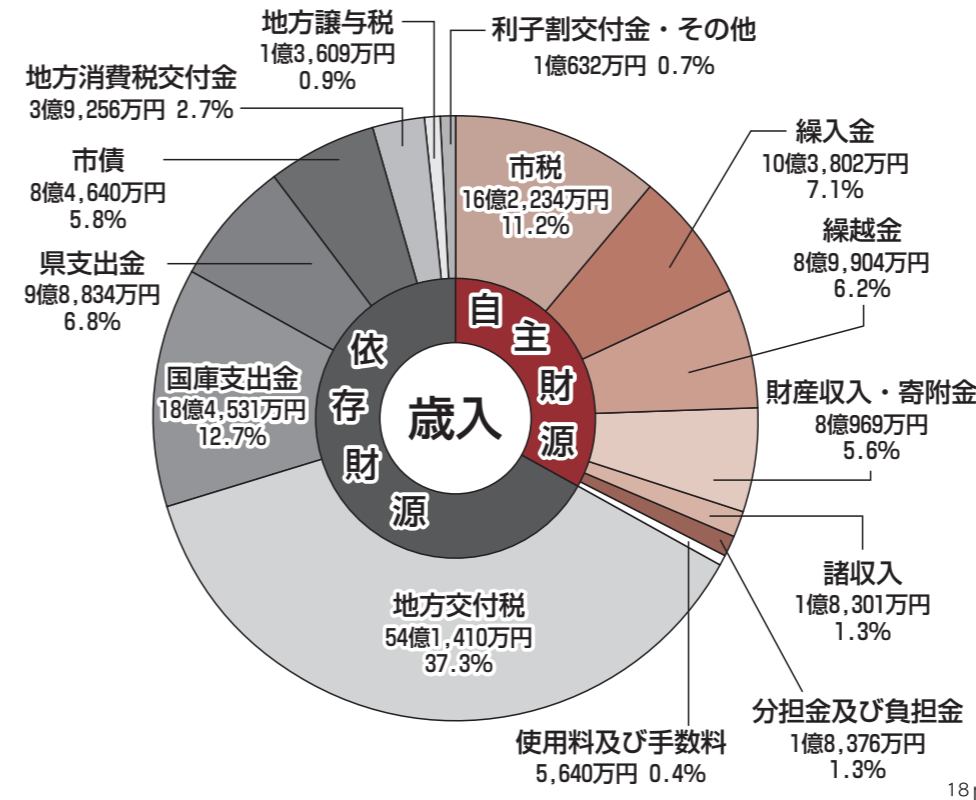
市民1人あたりに使われたお金 91万8,794円

不足分は、地方交付税や国庫支出金などで措置 80万8,745円

(令和4年3月31日現在人口) 14,742人

一般会計 歳入決算額

歳入合計 145億2,138万円



用語の解説

- 自主財源：市が自主的に収入することができるお金
- 依存財源：国や県などから交付または割り当てられるお金
- 国庫・県支出金：特定の事務事業に対し国や県から交付されるお金
- 市債：公共事業などで多額な資金が必要ときに長期で借り入れるお金
- 実質公債費比率：標準財政規模(自治体が通常水準の行政サービスを提供するために必要となる一般財源の目安となる数値)に対する借入金返済額等の割合を年度ごとに算出し、3カ年平均を示したものの。
- 将来負担比率：標準財政規模に対する、将来にわたって負担しなければならない借入金返済額等の割合を示したものの。

市税の内訳

区分	決算額		比較増減	
	令和3年度	令和2年度	金額	増減率
市民税	6億741万円	6億1,925万円	▲1,184万円	▲1.9%
固定資産税	7億2,595万円	8億3,059万円	▲1億464万円	▲12.6%
軽自動車税	6,714万円	6,610万円	104万円	1.6%
市たばこ税	1億4,459万円	1億3,530万円	929万円	6.9%
入湯税	1,773万円	1,647万円	126万円	7.7%
都市計画税	5,952万円	6,712万円	▲760万円	▲11.3%
合計	16億2,234万円	17億3,483万円	▲1億1,249万円	▲6.5%

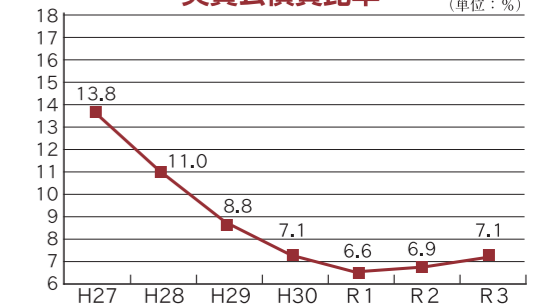
特別会計

特別会計の名称	収入済額	支出済額
国民健康保険特別会計(事業勘定)	22億6,587万円	20億3,457万円
国民健康保険特別会計(中央診療所)	4億2,211万円	3億7,075万円
簡易水道特別会計	2億8,155万円	2億7,677万円
国営村山北部土地改良事業特別会計	189万円	136万円
農業集落排水事業特別会計	8,885万円	8,615万円
介護保険特別会計	20億7,331万円	20億390万円
後期高齢者医療保険特別会計	2億2,374万円	2億1,294万円
合計	53億5,732万円	49億8,644万円

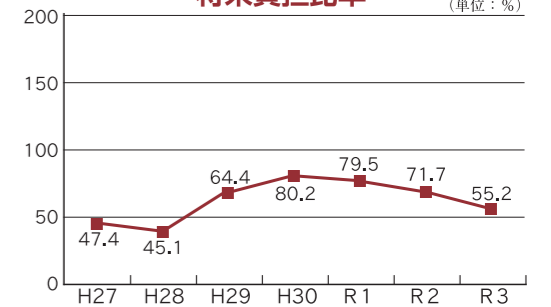
基金の現在高

基金の名称	(令和4年3月31日現在)		
	令和3年度末現在高	令和2年度末現在高	前年比
財政調整基金	7億5,981万円	6億615万円	1億5,366万円
減債基金	2億3,546万円	1億6,580万円	6,966万円
市民賞基金	1,150万円	1,161万円	▲11万円
公共施設整備等基金	7億874万円	6億9,139万円	1,735万円
交通安全対策基金	2,196万円	2,195万円	1万円
地域福祉基金	2,404万円	2,404万円	-
心身障害者(児)福祉基金	311万円	311万円	-
スポーツ振興基金	4,021万円	4,221万円	▲200万円
ふるさと尾花沢応援基金	8億1,257万円	6億3,045万円	1億8,212万円
山岳遭難対策基金	121万円	121万円	-
環境整備基金	499万円	558万円	▲59万円
森林環境譲与税基金	3,032万円	1,789万円	1,243万円
国民健康保険基金	1億4,337万円	1億1,337万円	3,000万円
中央診療所医療施設整備基金	170万円	170万円	-
介護給付基金	2億3,404万円	1億9,903万円	3,501万円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金基金	1億1,000万円	1億4,000万円	▲3,000万円
積立基金合計	31億4,303万円	26億7,549万円	4億6,754万円

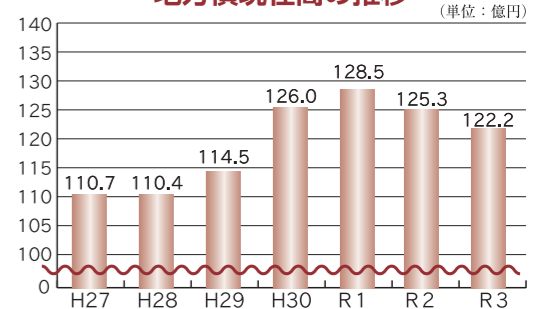
実質公債費比率



将来負担比率



地方債現在高の推移



「尾花沢市企業版ふるさと納税」の第1号として、
㈱ローカルブライト(村山市)が市へ寄附されました。

※「企業版ふるさと納税」は、企業が地方公共団体の地方創生の取り組みに対して寄附を行った場合に、法人関係税の控除が受けられる制度です。

トピックス
TOPICS 3
企業版ふるさと納税
寄附第1号



▲「ネットなどのデジタルを活用して地元が良くなるお手伝いをしていきたい」と語る㈱ローカルブライトの代表取締役CEO鈴木祐一郎氏(写真左から2番目)、COO五十嵐勇人氏(左から3番目)、システムエンジニアの東海林雄一氏(写真右側)。

「尾花沢市企業版ふるさと納税」の第1号として、㈱ローカルブライト(村山市)より市へ20万円の寄附をいただきました。

㈱ローカルブライトは、市内のスポーツ用品店富士スポーツの別会社として、令和2年に起業。デジタル推進事業やふるさと納税支援事業、WEBデザインなどを行っています。

9月29日に鈴木祐一郎CEOが来庁し、市長へ目録が手渡されました。寄附金は、子育て応援事業に活用させていただきます。

トピックス
TOPICS 1
新副市長に横沢氏

令和4年10月1日付で、副市長に横沢康子氏が就任しました。



9月定例会最終日の9月22日に、不在となっていた副市長の人事案件が提出され、横沢康子氏の選任について同意されました。

横沢氏は鶴巻田在住の57歳。福島大学経済学部卒業後、平成2年に市役所に入庁し、総務課、健康福祉課、福祉課、市民税務課などを経て、平成30年4月から健康増進課長兼中央診療所事務局長、平成31年4月から議会事務局局長を務められ、9月30日付で退職されました。

10月3日に行われた就任式で、横沢氏は「結城市長の目指す、安心して楽しく暮らせるまちづくり」に向けて、市長の補佐役という役割をしっかりと果たしていけるよう、尽力していきたい」と決意を述べられました。

トピックス
TOPICS 4
第35回東北ジュニアヨット大会

9月24日と25日の2日間、徳良湖で「第35回東北ジュニアヨット大会」が開催され、東北各地から集まった小・中・高校生がヨットの腕前を競い合いました。

「徳良湖ジュニアヨットクラブ」の選手たちを紹介!



※写真右から順に紹介します。

中島寿帆さん(中2・最上町)

小学3年生の時に父親に誘われて始めた。4レース目に失敗したので、来年は失敗のないようにしたい。

櫻井穂高さん(小4・尾花沢市)

今年5月から始めた。風がなかったけど走れて楽しかった。今後は風を受けてうまくスタートできるように頑張りたい。

中島尊帆さん(小5・最上町)

小学1年生の時から始めて、2週間に1回徳良湖で練習している。1試合しかなかったけど、緊張しないでいつもどおりやれた。今年は2位だったので、来年は優勝したい。

會田紘希さん(高2・山形市)

小学5年生の時から徳良湖で練習している。大会出場は4回目。今回は練習不足でしんどかったが、今後もヨットを続けていきたい。

青藤 蒼さん(小2・尾花沢市)

昨年、ヨット教室に参加したのがきっかけで始めた。風を切って走るところが楽しい。今年度はもっと順位を上げたい。



徳良湖での東北ジュニアヨット大会は、平成28年以来、2度目の開催。東北各県のジュニアヨットクラブに所属する選手たちが湖上でヨットの腕を競い合いました。

大会には、小・中・高校生合わせて21人が参加。「オプティミスト初級」(小学生)、「オプティミスト上級」(小・中学生)、「レーザー47級」(中学生・高校生)の3つのクラスに分かれて競技が行われました。開催期間の2日間とも風があまり吹かず、選手たちは皆苦戦していたようですが、日頃の練習の成果を発揮しようとしていました。

講評では、プロテスト委員長の斉藤さんが「レースを成立させるために仲間、パートナーを助け合うというのがヨットの特徴。次の大会ではさらに成長した姿を見せてほしい」と選手たちを激励しました。

トピックス
TOPICS 2
宮城・山形「絆」ツール・ド・347

国道347号(鍋越峠)の通年通行を機に、宮城県加美町と共同で開催している自転車イベント「ツール・ド・347」。参加者は、沿線の景色や地元のおいしいものを満喫しました。



9月25日、宮城県加美町と尾花沢市、大石田町を結ぶ国道347号を自転車で行くイベント「絆」ツール・ド・347が開催され、約125名が参加しました。

この自転車イベントは、国道347号鍋越峠が平成28年に通年通行となったことを機に、宮城県加美町と本市との交流事業として平成29年から行っています。新型コロナウイルスの影響により3年ぶり4回目の開催となった今年は、大石田町も加わり、コースもバージョンアップ。ロングコースは、加美町のやくらいウォーターパークを発着点とし、大石田町あったまりランド深堀で折り返す約120kmの長距離ルートです。鍋越峠から玉野地区を通り、徳良湖で休憩した後、そば畑を軽快に走り抜けていく参加者たち。尾花沢の雄大な景色を眺めながら、秋晴れの爽やかな風とともにサイクリングを楽しんでいました。



▲「グラススタジオ旭」脇のエイドステーションでは、芋煮とおにぎりでお腹をリフレッシュ。



▲緑の木々と湖とのコントラストが美しい徳良湖も、ロングコースでの見どころ。



▲玉野地区のシンボル「ニツ森」を背景に、軽快に駆け抜ける!



尾花沢市の「雪ごろう」と加美町の「かみご」も応援!





▲児童が描いたポスターで作った看板。

トピックス
TOPICS 7
福原小4年生 総合学習
福原の自然を守ろう!

福原小学校4年生18人は、総合的な学習で「福原地区の宝は自然」と考え、学びを深めています。地域の川に多くのごみが捨てられていることが、鮎などの生き物にどんな影響を与えているかを知り、自分たちができることは何かを話し合ってきました。地域の宝である自然や川の生き物を未来に残す取り組みの一環で、ごみのポイ捨てを無くそうとポスター看板を作成。その看板を、9月14日、荻袋地区の「丹生川ふれあい広場（丹生川河川公園）」内の3カ所に設置しました。

この河川公園は、バーベキューや芋煮会などの会場に利用されることも多く、片付けされずに残ったプラスチックごみやペットボトル、空き缶などのごみが捨てられています。児童たちは、自分たちができることはごみ拾いだと考えて8月19日に実施し、約2.6kgのごみを回収しました。この現状を何とか改善したいと意見を出し合い、「みんなのごみを捨てないよ」と呼びかけよう」と看板の制作に取り組みしました。この日も、看板の設置後に児童たちが進んでごみ拾いを行い、「この看板をきつかけにごみが無くなってほしい」と願いました。自分で出したごみは持ち帰る等、一人ひとりの心掛けでごみのポイ捨てをなくしましょう。



トピックス
TOPICS 5
宮沢小学校
開校10周年

明德小学校と高橋小学校が統合して10周年を迎えた宮沢小学校で、9月10日に記念イベントが開催されました。

宮沢小学校開校10周年記念イベント
「影法師コンサート」と「花火打ち上げ」
天翔

平成25年に明德小学校と高橋小学校が統合し、宮沢小学校となったから10周年を迎えました。この節目を学校と地域とが一緒になってお祝いしようと、9月10日に記念イベントが開催されました。

宮沢小学校の体育館に地区民約140人が集まり、夕方からイベントがスタート。長井市のアマチュアフォークソンググループ「影法師」のコンサートでは、体育館に響き渡るギターの音色としっかりとした歌声に聞き入りました。コンサートが終わると、グラウンドで記念花火の打ち上げが行われました。2号玉、2.5号玉合わせて20発の花火が、宮沢小児童35人の名前読み上げとともに、次々と秋の夜空に打ち上げられ、花火を間近で見ようと小学校周辺に集まった大勢の地区民から歓声が上がりました。このイベントのテーマである「天翔」は、10年目の小学校に由来し、「地域の皆さんに元気を届けたい」、「10年間の思い出を作りたい」との思いが込められています。地域の人たちが皆でお祝いしたこの日の出来事は、忘れられない思い出になるでしょう。



2050尾花沢市ゼロカーボンシティへの
チャレンジ シリーズ②



住宅の断熱化で快適な暮らし

山形県では、国の省エネ基準を上回る性能の高気密・高断熱住宅を「やまがた健康住宅」として認証し、普及促進を図っています。「やまがた健康住宅」は、最も寒い時期の就寝前に暖房を切っても翌朝の室温が10℃を下回らない断熱と気密性能を有する住宅です。暖房によるエネルギー消費量を減らすことができ、灯油に換算すると1世帯当たり約300ℓも削減することができます。



Q 住宅を断熱化等のリフォームする場合、市からの助成はありますか？

A 条件によって変わりますが、最大30万円の助成制度があります。また、薪ストーブやペレットストーブを設置する場合の助成制度もあります。
※詳しい内容が知りたい方は、環境エネルギー課(市役所2階)までご相談ください。

身近なところから、
できることから、
はじめてみよう。アクション②

石油ファンヒーターは必要なときだけつける。

1日1時間短縮した場合(設定温度20度)

CO₂約41.5kgの削減が期待できます。

(年間約1,470円の電気代節約)

◆環境エネルギー課 生活環境エネルギー係 ☎(22)1112

トピックス
TOPICS 6
市公式ホームページ
リニューアル

「尾花沢市公式ホームページ」がリニューアルされ、10月1日から新たに運用が開始しました。



スマートフォンからも閲覧できます。こちらのQRコードを読み取ってアクセスしてください。



▲リニューアルしたホームページのトップ画面。スマートフォンなどの携帯端末でも見やすいように、検索の多い項目を中心に情報をまとめ、スッキリしたデザインにしました。
市公式ホームページ <http://www.city.obanazawa.yamagata.jp>

10月1日、尾花沢市公式ホームページが、より見やすく、検索しやすいホームページに生まれ変わりました。
近年、スマートフォンやタブレット端末を利用した閲覧が多くなっているため、このような携帯端末からも見やすいホームページとなるよう、デザインしています。
市民の皆さんが気軽に利用できるホームページを目指し、引き続き市の情報を発信していきますので、ぜひご覧ください。

Diary 9/3 ジモト大学尾花沢キャンパス
「そば」を通して接客・
情報発信を体験



新庄・最上・尾花沢地区の高校生たちが、市内でそば店を経営する高橋晃治さんから、尾花沢そば振興への想いや自身の修業時代の話を聞き、その後グースカフェで「北村山高校そばガールズ」考案のそばクッキーを振る舞いました。接客の難しさを感じながらも、笑顔でカフェ運営を体験していました。



Diary 9/9 羽州街道てくてくツアー
古道を歩いて地元の
歴史を知ろう！

福原ふるさと歴史保存会主催による「羽州街道てくてくツアー」。猿羽根山地蔵尊から尾花沢方面に向かい、途中の「羽州街道古道」標柱設置地点で折り返す、約2kmの道を歩きました。参加者は芭蕉や秋田の殿様が通った道を、昔の人々に想いを馳せながら草をかき分けて歩き、爽やかな汗を流していました。

Diary 9/21 秋の交通安全運動出発式
交通事故死ゼロを
目指してパトロールへ出発！



「秋の交通安全県民運動」の初日、尾花沢警察署で行われた出発式に尾花沢市と大石田町の関係者約60人が出席。式の後、パラバルーン演技を披露したひまわり保育園の園児たちや、大集合したご当地キャラクターに見送られ、白バイを先頭にパトロールへと出発しました。皆さんも交通ルールを守りましょう。



Diary 9/26 そば豊作祈願祭
おいしい新そばが
待ち遠しい！

徳良湖畔にある高宮農場のそば畑で、そばの豊作を祈願し、神事と巫女舞奉納が行われました。尾花沢そば研究会「ゆう遊三味会」は、「原種最上早生」の栽培からお店で提供するまで「オール尾花沢産」のそばを目指しています。こだわりを持って育てられた新そばの甘みや香りが楽しめる季節は間もなくです。

おばなざわ日記 *Obanazawa*
Diary

※撮影のため一時的にマスクを外している写真があります。
※イベント等は新型コロナ感染防止対策をとった上で行っています。

Diary 9/28 尾花沢市中学生作業体験会
建設業って意外と面白いかも！



将来の尾花沢を担う中学生に建設業の魅力や面白さを知ってもらおうと、尾花沢市建設業協会と市が企画し、徳良湖で「尾花沢市中学生作業体験会」を開催しました。尾花沢中と福原中の2年生97人が参加し、実際に建設現場で使用しているバックホウやドローンなどの操作を体験。生徒たちは初めて触れる機械にも臆することなく、楽しそうに建設業の世界を学んでいました。

Diary 9/20 宮沢小学校 山形県警察音楽隊コンサート
安心安全を守る
音の架け橋



宮沢小の体育館を会場にコンサートが開催され、大河ドラマの主題歌などが演奏されました。普段人々の安全を守っている警察官の、曲ごとに感情を表現した力強い演奏に、児童たちは夢中になって聴き入っていました。



▲ステージが上がってわくわくさんと一緒にゲームをする子も。最後はビニールで作った風船を会場の皆でつなぐゲームをして盛り上がりました。

Diary 9/23 親子ふれあい広場
わくわくさんと
一緒につくってあそぼ！

NHK教育番組「つくってあそぼ！」でおなじみの「くぼたまさと工作ショー」がサルナートで開催されました。午前の部・午後の部合わせて約120人が参加。わくわくさんと一緒に工作ショーを楽しみました。

全カ!ハイタッチ☆

～スポーツや文化活動に熱中する「おぼねっ子」たちにエールを送ろう!～

8月6日～22日の日程で開催された「第104回全国高等学校野球選手権大会夏の甲子園」準決勝のマウンドに、聖光学院(福島県)のピッチャーとして小林さんが立ちました。

「甲子園のマウンドは観客も多くて緊張したけど、メンバーの思いを背負って投げ、振り返って考えてみると楽しかった」という小林さん。強い対戦相手にも「気持ちでは絶対に負けない」ことをチームの目標に掲げ、目の前の試合1戦1戦に集中して臨みました。

「結果は悔しかったけど、チームのみんなとたくさん話して、今は悔いなくやりきったと思う」。

小学2年生から野球を始め、スポーツ少年団や部活で練習に励んできました。高校でも野球ができることを探して聖光学院のオープンスクールに参加。見学した部活の雰囲気惹かれて進学先を選びました。県外での高校生活となりましたが、野球の仲間と過ごし、3年間良いチームでプレーができたそう。高校卒業後も大学で野球を続けて頑張っていくそうです!



▲甲子園準決勝で仙台育英と対戦。7回から登板し、投球する小林さん。



聖光学院高等学校3年
こばやし そうたろう
小林 聡太郎さん
(若葉町)

きた★スタ!

北村山
STARS
北村山高校の学園祭の様子を紹介します!
今年の学園祭も盛り上がりました!

vol.61



▲今回の編集委員
後列右から：三嶋幸 佐藤芽華 穂積先生
前列右から：東海林優貴 大類瞳

学園祭が開催されました!

9月22日と23日に学園祭を開催しました! 21日には前夜祭を行い、全校で花火を楽しみました。

期間中は様々なイベントが催され、全校生徒で楽しむことができました。特に各クラスの工夫を凝らした企画が学園祭を盛り上げ、個性溢れる装飾で校舎内を華やかにすることができました。また、実行委員企画では、チームに分かれて6つのゲームにチャレンジしました。全校生徒が和気あいあいと楽しむことができました。

全員で準備を頑張ったおかげで、学園祭に来てくれた中学3年生の皆さんにも楽しんでいただけたと思います。これからも楽しい行事を創っていきたいです!



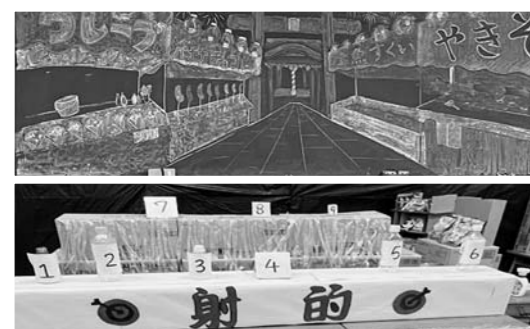
▲前夜祭での花火の様子



▲装飾・クラス企画頑張りました!



▲総合文化部(書道)のパフォーマンス



今年度スローガン→
Be the sun! ~距離は遠く心は近く~



右のQRコードから北村山高校のInstagramやホームページを見ることができます! →北村山高校の魅力がたくさん詰まっているので、中学生の皆さん、保護者の皆さん、ぜひチェックしてみてください!



Instagram ホームページ

地域おこし協力隊

奮闘記

グースカフェ▶
Facebook

グースカフェの最新情報や徳良湖の風景などを掲載しています。ぜひご覧ください。

ありがとうございます
ございました!



なかざと 裕美
中里裕美隊員

皆さん、こんにちは! 3月より尾花沢市の地域おこし協力隊として、徳良湖畔にありますグースカフェの運営をしております、中里裕美です。

3月に着任し、4月より前任の先輩隊員より引き継いだスイーツとコーヒーなどのドリンクの提供をはじめ、7月からは尾花沢産そば粉100パーセントのガレットを焼いたりしてきました。6月には地域おこし協力隊の先輩であり、プロのチェロ奏者の加藤皓平さんと一緒に、閉店後のグースカフェで朗読コンサート「ゼロ弾きのゴージュ」を上演しました。満席御礼で礼止めを出す大盛況でした。

たくさんの方に応援していただき、優しいお客様に支えられ、今日までグースカフェで楽しく過ごすことができました。本当にありがとうございました。

私は9月をもちまして退任いたします。ですが、後任の地域おこし協力隊員が意欲满满がんばってくださると思っていますので、引き続きグースカフェをよろしくお願いたします。

つむじ風隊員中
里でした!



▲9月30日付で退任された中里さん。グースカフェ運営やSNSなどで尾花沢の魅力を発信してくれました。



市長コラム

10月の花と言えば「リンドウ」があります。花言葉は「正義」「誠実」です。

10月1日から、その言葉に相応しい副市長として横沢康子さんが就任しました。これまで市職員として長年勤務された豊富な知見を活かし、市民の皆さまのためにさらに尽力されるよう祈念するとともに、共に頑張りたいと思いますのでよろしくお願いたします。

いま日本は、少子高齢化が深刻な問題となっており、本市においても、令和27年の高齢化率(65歳以上の人口比率)は55%を超える予測されています。急激な少子高齢化により、地域の担い手不足による産業の衰退や地域コミュニティの崩壊など、様々な問題も危惧されています。

このような現状を打開する一つに、デジタル化構想があります。国では令和3年9月にデジタル庁を発足させ、山形県では「幸せデジタル構想」を打ち出しています。コロナ禍におけるオンライン授業など、既に本市でも取り組んできましたが、さらに「書かせない、来させない市役所」を目指した窓口のデジタル化にも取り組んでまいります。また、2020年から必修化された小学校でのプログラミング教育や、スマートフォンのようなICT(コンピュータ)機器やアプリを活用する技術)は、私たちの普段の生活の中に身近なツールとして浸透してきています。そのため、小中学校の子供たちにも先進的なデジタル教育の機会を早期に設けたいと考えています。特に、尾花沢に住みながら最先端の仕事ができる「ITエンジニア」の育成を行うことにより、若年層の流出を抑制するとともに、新たな地域産業づくりに結び付くものと考えております。

尾花沢市長 結城 裕

「第18回尾花沢市総合防災訓練」を行います

大規模地震等の災害に備え、防災訓練を左記の日程で実施します。今年度は、新型コロナウイルス対策を踏まえ、規模を縮小し人数を限定して行います。

■日時／10月23日(日)午前9時～
■場所／尾花沢市役所(避難所開設・運営訓練)、芦沢地区(住民安否確認訓練)

①緊急情報伝達訓練

緊急時の情報伝達手段(緊急速報メール、防災行政無線(屋外スピーカー)、戸別受信機)で市内全域に情報を伝達します。受信状況や接続状況の確認をお願いします。(対象：市内在住の方)
※当日、避難等の行動は必要ありません。災害と間違えのないようご注意ください。

②住民安否確認訓練

緊急情報の伝達を受け、自主防災組織にて地域住民の安否を確認します。(対象：芦沢地区自主防災会)

③避難所開設・運営訓練

市の避難所担当職員や自主防災会長が、避難所の開設手順や運営

清流と山菜の里ほその村 新そば秋の味覚まつり

味わい深い細野そばや、豊かな自然が育んだきのこを、ぜひご賞味ください!!

■日時／10月30日(日)
午前11時～午後2時

■内容／予約制(先着50人)で、細野そば、きのこやイワナ料理、酒、ジュースを提供します。予約なしでも新そばを500円で提供。「かあちゃん広場」産直販売も開催。

■会場／細野農家レストラン「感」(尾花沢市細野52)

■参加費／2千500円
■予約方法／常盤地区公民館(28)2122または左記まで電話でお申し込み。

■清流と山菜の里ほその村(五十嵐) 0800(1817)0620

第305回山形交響楽団定期演奏会 無料鑑賞券の申込者募集

■日時／11月19日(土)午後7時開演
■場所／山形テルサホール
■申込方法／ハガキに①「第305回山響鑑賞券希望」②郵便番号・住所③氏名④年齢⑤電話番号を

手法を確認します。(対象：各市区区長会長、山形県防災士会尾花沢支部)

「個人やご家庭での取り組み」

総合防災訓練の日をきっかけに、ハザードマップの確認、分散避難をはじめとする避難行動の検討、備蓄品や非常持出品の確認など、防災・減災意識を高め、実践的な取り組みをお願いします。

※当日の気象状況によっては中止する場合があります。
■防災危機管理課 ☎(22)1113

市役所の避難訓練について

■日時／10月24日(月)
午前9時～午前9時30分
■訓練内容／避難誘導、初期消火訓練、通報訓練
■財政課 財産管理係【内線243】

沿道地権者の皆様へ 樹木伐採や枝打ちのお願い

冬季は積雪による倒木や落雪が発生しやすく、道路通行上支障となる事例も見受けられます。これらが原因となり車両や歩行者に事故が発生した場合、土地所有者が賠償責任を問われることがあります。

明記し、左記へ郵送。

※市内在住の方が対象(1人1枚まで)。当選者については、鑑賞券の発送をもってお知らせします。

■申込締切／10月27日(木)必着
■社会教育課 生涯学習スポーツ係 ☎(23)3332

収入保険新規加入緊急奨励事業

持続的な農業経営を後押しするため、農業経営における様々な収入減少リスクに対応する収入保険に新規加入する方へ、保険料の一部を補助します。

■対象者／令和4年12月までに収入保険に新規加入した方
■補助額／掛捨て保険料のうち、「掛捨て保険料実費」または3万円のいずれか低い額
■保険期間／

・農業者の場合：令和5年1月～12月の1年間
・農業法人の場合：令和4年度内に開始する方
■申請期限／1月6日(金)
※詳しくは農林課にお問い合わせください。

■農林課 農政畜産振興係 ☎(22)1115

す。

所有されている土地に、道路にはみ出した木がある場合は、降雪前の伐採をお願いします。

また、除雪作業は高さ3.5mのドーザーで行いますので、樹木の枝が道路上空に出ている場合は枝打ちをお願いします。

※緊急の場合は予告なく伐採することがあります。

作業時の注意点

・冬季の伐採は危険です。降雪前に行いましょう。
・電線等が近くにある場合は、安全のため東北電力へご相談ください。

■東北電力フリーコール ☎0120(75)377
■建設課 維持管理係 ☎(22)1114

保育施設体験見学会の開催

市内保育施設の、体験見学会を開催します。0歳～就学前児の入園で、見学を希望される方は、各園までご連絡ください。
■期間／10月24日(月)～29日(土)【公立】※おもだか保育園以外
●さくら保育園 ☎(22)0420
●ときわ保育園 ☎(28)2127

家を新築・増築・取り壊したときはご連絡ください

固定資産税・都市計画税は、1月1日現在で所有する資産が課税対象です。家の存否確認のため取り壊した際には届出(家屋滅失届)を忘れずに提出ください。

※届出をされないと、取り壊した家屋に引き続き課税されてしまうおそれがあります。
※大雪・災害等で倒壊した家屋についても届出が必要です。
※新築・増築を行った場合、家屋の評価が必要ですので、ご連絡ください。

■市民税務課 資産税係 ☎【内線125・126・127】

「119救急ガイドブック」完成!

命を救うための応急手当の方法をはじめ、ためらわずに救急車を呼んでほしい症状、救急車を呼ぶべきか迷った時の相談先、また、救急要請時に知っておいてもらいたいことなどをまとめた「119救急ガイド」を作成しました。
尾花沢市大石田町の全世帯へ配布しますので、一人ひとりが「119救急ガイド」を確認し、いざという

- 玉野保育園 ☎(28)2117
- 【私立】
- 尾花沢幼稚園 ☎(22)0312
- ひまわり保育園 ☎(23)2123
- よつば保育園 ☎(24)3456

市営住宅入居者募集

■敷金/入居時家賃の3カ月分
■申込締切/10月31日(月)
■入居決定/優先入居または公開抽選
■入居時期/12月中旬頃

【入居者募集 住宅一覧】

募集住宅	所在地	戸数	概要	家賃(月額)	駐車場使用料	特記事項
長根下住宅2号棟(RC造4階建)	新町	3	昭和55年建築/3・4階3DK	16,200~31,800円	なし	・単身入居可(ただし、高齢者・障がい者等) ・一般世帯向
福原よつば住宅(木造2階建)	荻袋	1	平成21年建築(戸建)2LDK	22,100~43,500円	なし	期限付入居、小学6年以下の子がいる世帯が対象

※入居条件がありますので、あらかじめご相談ください。
※家賃は令和4年度のものです。

■建設課 都市住宅係 ☎(22)1114

うときにご利用ください。

消防では、119番の通報内容から応急手当が必要な場合、通話で応急手当の協力をお願いする場合があります。すぐに手に取れる場所に保管してください。

救急車は「限りある医療資源」です。緊急を要する人の元へ速やかに救急車が向かえるよう、救急車の適正利用にご協力ください。
■消防本部 救急係 ☎(22)1131

「第77回県展・第64回こども県展」大石田巡回展を開催します

北村山地区の出品者を中心とした日本画、洋画、彫刻、工芸の作品を展示します。

■日時／10月26日(水)～31日(月) 午前9時～午後5時(最終日は正午まで)

■場所／大石田町民交流センター「虹のプラザ」
■入場料／一般(前売)：200円、一般(当日)：300円、高校生：100円、小中学生：50円

■大石田町教育委員会 教育文化課(虹のプラザ内) ☎(35)2111【内線613】